点検・評価の様式

政府統計コード	00500501	
基幹・一般の別(選択記入)	特定一般統計調査	
調査の名称	地域特産野菜生産状況調査	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	○	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	○	国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
		月例経済報告に利用
		基幹統計の作成に利用
		基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	○	その他（食料需給表、野菜をめぐる情勢等に活用）
特記事項		

①　調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 （整合している場合チェック）	☑ １.調査の目的 ☑ ２.調査対象の範囲 ※ ☑ ３.報告者数等※　（報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等） ☑ ４.報告事項とその基準期日 ※　（報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間） ☑ ５.報告の方法 ※　（報告を求めるために用いる方法） ☑ ６.報告を求める期間 ※ ☑ ７.集計事項 ※ ☑ ８.結果の公表方法及び期日 ※　（調査結果の公表の方法及び期日） ☑ ９.使用する統計基準 ☑ 10.調査票情報の保存　（調査票情報の保存期間及び保存責任者） ☑ 11.立入検査　（基幹統計調査のみ）	**全項目整合**

（注１）「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

（注２）不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

②　統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	□ 課題なし ☑ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）		見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）		対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	【令和４年産調査（前回調査）】 ＜見直し・改善の契機＞ ・令和４年産調査の取りまとめにおいて、数値の誤記入（桁間違い、転記ミス、転記漏れ）が多く、取りまとめ作業が煩雑化した上、過年次調査結果の公表後修正が頻発 ＜見直し・改善の概要＞ ・数値の妥当性の確認（ダブルチェックの徹底、根拠資料の照合、単位の確認等）、品目ごとの動向把握の実施を徹底 ・訂正事案等を踏まえた留意点等を整理し、これを反映した「調査の手引き」又は「調査票の記入の仕方」の作成・配布 ・前年に比べて変動が大きい品目、調査項目間の疑義確認等について、的確で漏れなく、かつ審査が容易となるよう、前回産比較、エラー及びワーニングチェック機能を付加した「調査結果検討表」（エクセル）を作成・配布し、これを基に数値の内容確認や変動要因把握を実施 ・桁間違い、誤記入を防止するため、調査票において、単位が異なる調査品目が分かるような工夫、レイアウトの見直しを実施 ・調査計画の誤字を修正	○	調査計画の見直し・改善		調査計画の変更申請	対応済
		○	業務マニュアル等の整備・充実・改善	○	調査計画の軽微変更	
			品質の表示	○	業務マニュアルの整備・充実	
			変更管理の実施	○	実施方法の見直し	
			遅延調査票への対応		その他	
			外部委託先からの意見や改善提案の聴取			
			ＤＸの実施、データのデジタル化			
			システムの要件・仕様の可視化			
			プロセス診断結果の取り込み			
		○	その他プロセスの段階的な向上に向けた取組			

③　必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況				目安としている指標の具体的推移 （自由記入。別紙も可）		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択（複数選択可）		目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 （自由記入。別紙も可）	目安としている指標の設定時期 （自由記入）	今回調査 （又は前回調査）	前回調査 （又は前々回調査）	前々回調査 （又は３回前の調査）
１　調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況		達成精度	全数調査のため、目安とする指標は設定していないが、回答率の実績は右記のとおり	設定なし	100% （令和６年産調査）	100% （令和４年産調査）	100% （令和２年産調査）
		回収率・回答率					
		回収調査票数					
		カバレッジ					
		その他					
	○	設定なし					